

D-a 適正な取引—購買調達方針・グローバル購買

購買調達方針

私たちは、地球環境・地域社会に配慮し、公正な取引を基本とした取引先との協力・信頼関係を大切にしています。また、国内外の取引先とのつながりを強化するため、サプライチェーンマネジメントの運用やコミュニケーションを積極的に実現することで、取引先と共に成長するための購買活動をめざしています。

部材・設備を購入するにあたっては、日本国内・海外各国の法令および社会規範を遵守し、取引先の選定に際しては品質・価格・納期・環境対応・CSR活動などの指標を客観的に評価することで公平かつ公正な取引が行われるよう努めています。また取引先に対し、反社会的勢力との関係を排除する旨の覚書締結や紛争鉱物への対応要請、部材の納品時には繰り返し使用できる専用ケースを奨励するなど、コンプライアンスや環境負荷低減を重視した購買活動を実施しています。

HORIBAグループ購買調達方針

1、パートナーシップ

長期的な信頼関係を構築し、相互協力により共存共栄の関係を図ります。

2、公平・公正な取引

国内外のつながりを強化し、品質、納期、価格、環境対応などを重点に適正な基準でかつ客観的な立場で選定し、公平かつ公正な取引を推進します。

3、環境への配慮

「グリーン調達ガイドライン」を定め、環境に配慮された部材や材料の調達を推進します。

4、情報の守秘

取引を通じて得た情報を承諾なしに第三者に公開しません。

グリーン調達

私たちは、製品の全ライフサイクルにおける環境負荷低減をめざしたグローバル製品づくりを推進しています。そのためには、グループ資材部が調達する部品や材料そのものの環境負荷が低減されている必要があります。

2003年に発行された『グリーン調達ガイドライン』を法規制や社会動向に併せて適宜改定し、取引先各社をお招きしての説明会や教育を実施したり、環境への取り組みに積極的な取引先から優先的に調達するなど、グリーン調達*の推進に努めています。

*詳しくはHORIBAホームページ内、<http://www.horiba.com/jp/social-responsibility/relation-with-business-partner/green-procurement/>に記載しています。

グローバル購買の推進

世界各地のグループ会社が連携して定期的に会議を開催し、共通の指標を活用しながらグループ間の壁を越えて高い生産性の実現をめざし、部品の標準化や共同購買、品質向上などグローバルに取り組んでいます。また、グローバル購買の推進にあたって懸念されることの1つに、外為法にもとづく輸出管理が挙げられます。この問題に対応するため、輸出管理委員が中心となって輸出管理部門と緊密な連携をとるとともに、定期的な教育を行って法令の遵守に努めています。